

# 水平社宣言の内容は

教育長 団結・自立・誇りを示している



西山 富三郎 議員

教育長



日本初の人権宣言

【西山】 部落差別解消推進法が施行されている。今、先人の心に思いをいたし、水平社宣言の内容をたずねる。

【教育長】 1点目は、「団結」こそが運動を推進する原点だということである。2点目は、自立、自闘を強く訴え、自分たちの力で解放を達成するという精神を訴えている。3点目は、被差別の人々が自分の立場を隠そうとするならば、運動そのものが成り立たず、そのこと自体が差別になることを示している。4点目は、部落解放運動は、決して部落の解放だけではなく、全人類の解放をなすということである。「人の世に熱と光を」取り戻そうということだと考える。

【西山】 差別の現実に学ぶとは。

【教育長】 人としての誇りを失わず、差別と闘った人々の生き方を学び、学びを通して一人ひとりが差別をなくす取り組みにつながることをだと思ふ。

# 地方自治体の認識は

町長

自立した地方政府と考えている

【西山】 地方自治体は国の根源といわれるが。

【町長】 国と地方は対等平等の関係であり、地方自治体は自立した地方政府と考えている。

【西山】 自治基本条例を制定すべきと思う。

【町長】 全国的に賛否が分かれており、熟慮したい。

【西山】 対話、共感、協働で新しい豊かさ、知恵や力を貸してくれる人が増え、地域の質が高まっているか。

【町長】 町民、集落などとともに力を合わせてまちづくりを進めており、地域の質は高まったと思っている。

【西山】 行政はすべてオープンであるか。

【町長】 オープンであるべきと常に思い、そのように進めている。

【西山】 腐敗対策はどのように心得ているか。

【町長】 常にコンプライアンスに努め、情報

【西山】 地方自治体の施策は人権が基本と思うが。

【町長】 人権尊重の視点に立った施策を実施している。



町村は地方政府である